

令和8年度第69回福島県中学校体育大会 柔道大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 福島市教育委員会
福島県中学校長会 公益財団法人福島県スポーツ協会
福島県柔道連盟
- 2 後援 福島市
- 3 主管 県北地区中学校体育連盟
- 4 期日 令和8年7月22日(水)～24日(金)
22日(水) 監督会 14:00～
23日(木) 競技 10:30～ 男女団体戦
表彰式 13:30～ 男女団体戦
24日(金) 競技 10:05～ 男女個人戦
表彰式 14:50～ 男女個人戦
- 5 会場 NCVふくしまアリーナ
〒960-8021 福島県福島市霞町4-45
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し校長が参加を認めた者とする。
(2) 福島県中学校体育連盟に登録を認められた地域クラブ活動に所属する生徒とする。
(3) 各地区予選会を通過した一校単位もしくは単一クラブで編成されたチーム、および個人とする。
※参加資格等について、上記の他、全競技共通「令和8年度第69回福島県中学校体育大会要項」も併せて確認すること。
- 7 引率・監督 (1) 学校においては、参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承諾書)」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 個人戦の監督は、2組以上出場する場合、出場する組数まで監督をおくことができる。
(3) 外部・校外コーチについては校長が認めた者とし、所定の様式に従い「コーチ確認書」を参加申込と同時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員・校長・部活動指導員の外部・校外コーチとしての参加は認めない。
(4) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。
(6) 地域クラブ活動においては、責任ある代表者または監督・指導者が引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
(7) 地域クラブ活動における監督は、福島県中学校体育連盟に登録した公認スポーツ指導者とする。
- 8 参加人員 (1) 団体戦 男子は、基本各地区2、推薦4、最大3。推薦は、前年度県総合大会1位の地区、前年度県新人大会結果3【上位地区】とする。
(2) 女子団体で欠損が生じた場合は、専門委員長会議で補充を決定する。
(3) 団体戦のチーム人員、編成について
① 男子は監督1、コーチ1、選手5、補欠3、計10名以内とする。女子は監督1、コーチ1、選手3、補欠3、計8名以内とする。
② チームの編成は、体重の重い者を大将とし、以下体重順に編成する。
③ 試合ごとの選手の位置を変えることはできない。また、選手の補充は認めない。

- (4) 個人戦は、下記の男子8階級、女子8階級で行う。男女とも各階級に各地区から4名出場とする。

男 子	女 子
50kg級(50kg以下)	40kg級(40kg以下)
55kg級(50kgを超えて55kg以下)	44kg級(40kgを超えて44kg以下)
60kg級(55kgを超えて60kg以下)	48kg級(44kgを超えて48kg以下)
66kg級(60kgを超えて66kg以下)	42kg級(48kgを超えて52kg以下)
73kg級(66kgを超えて73kg以下)	57kg級(52kgを超えて57kg以下)
81kg級(73kgを超えて81kg以下)	63kg級(57kgを超えて63kg以下)
90kg級(81kgを超えて90kg以下)	70kg級(63kgを超えて70kg以下)
90kg超級(90kgを超える者)	70kg超級(70kgを超える者)

- (5) 個人で欠損が生じた場合は、専門委員長会議で補充を決定する。

9 競技規定

- (1) 国際柔道連盟審判規程(2025年1月1日施行のもの)および国内における「少年大会試合審判規程」並びに本大会申し合わせ事項による。

- (2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。

① 団体試合

個々の試合においては、「有効」以上又は「僅差(「指導」の差2以上)」とする。優劣の成り立ちは以下の通りとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

「一本勝ち」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。

代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」以上又は「僅差(「指導」の差2以上)」とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。

延長戦(ゴールデンスコア)の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。

延長戦において指導の累積によって両者が同時に「反則負け」になった場合は、抽選により必ず勝敗を決する。

② 個人試合

ア 「有効」又は「僅差(指導差2)以上とする。技による評価が同等の場合もしくは指導差2以上がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦は、「有効」以上もしくは指導差がでた時点で勝敗を決する。

イ 指導の累積によって両者が同時に「反則負け」になった場合は、得点板をリセットして、延長戦で勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積によって両者が同時に「反則負け」になった場合は、抽選により必ず勝敗を決する。

- (3) 団体試合において「両者反則負け」の場合は、両者負けとして扱う。

- (4) 試合時間は、団体試合・個人試合とも3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

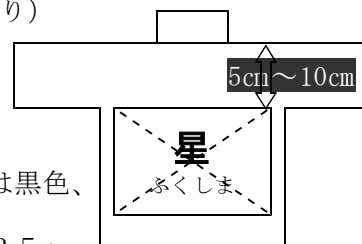
- (5) 柔道衣は白色とし、(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。女子も黒帯とする。

- (6) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

- (7) ゼッケンの着用(例を参照)

柔道衣にゼッケン(チーム名・名字入り)を縫いつけて出場すること。

- ① 布地は白色
- ② 名字(姓)は上側2/3
- ③ チーム名は下側1/3
- ④ 書体は太字ゴシック体・明朝体、男は黒色、女は赤色
- ⑤ サイズは、(横30~35cm・縦25~30cm)



- ⑥ 縫いつける場所は後襟から5~10cm下部に縫い付ける。対角線にも強い糸で縫いつける。

- (8) 女子のTシャツは次のとおりとする。
- ① 色は白(透けない)、半そで、丸首とする。
 - ② 製造業者マークは、最大 30c m²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
 - ③ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 100c m²とする。
 - ④ いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。
- (9) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」、「脳震盪対応について」を適用する。安全対策(脳震盪対応について)は以下のとおりとする。
- ① 大会前1ヶ月内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医の精密検査を受けること。)

10 競技方法

- (1) 団体戦はトーナメント戦とする。
 - ① 2つのチーム間における対抗方式は、男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り方式で行う。
 - ② トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- (2) 個人戦は、トーナメント戦で行う。

11 表彰

- (1) 男女とも、団体優勝チームには優勝旗(持ち回り)を授与する。
- (2) 団体戦・個人戦とも、1位～3位(4チームまたは4名)に、賞状とメダルを授与する。(団体戦は登録選手全員に授与する。)

12 参加料

1名 2,000円とする。
(団体戦・個人戦ともに参加する選手については重複して納入しない。)

- (1) 参加料、参加記念章代、プログラム代を競技要項記載の口座へ振り込むこと。なお、その際の手数料は各チームの負担とする。
【手数料は各学校(チーム)負担。チーム名が分かるように振込をする。振り込む際のチーム名の表記については県中体連HP掲載資料を参照する。】

【銀行名】東邦銀行 西福島支店	【店番号】123
【種目】普通預金	【口座番号】362334
【口座名義】県中体連柔道 ケンチュウタイレンジュウドウ	

13 参加申込

- (1) 申込書原本
各学校・地域スポーツ団体(地域クラブ活動)は、参加申込書一式をPDF化(ただし、フルカラー、300dpi以上に限る。)し、地区中体連専門委員長へメールで申し込む。
【申込締切】令和8年6月22日(月)必着

- (2) 申込用Excelデータ
年度初めに送信されている『申込フォーム(Excel)』の『県大会入力』シートに必要事項を入力し、次の申込先にメールで送付すること。
【申込締切】各地区ごとに決められた期日(別紙参照)

郡山市立行健中学校 担当 村上 勇樹 宛 E-mail: fukushima.jhs.judo@gmail.com
--

- (3) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類を確認の上、県競技部事務局へ提出する。
- (4) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類を集約する。

- 14 宿 泊
- (1) 宿泊を希望する学校・地域クラブは、各チームで宿舎を確保し申し込むか、大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
※ チーム独自で確保した場合には、大会事務局に報告すること。
 - (2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
 - (3) 大会事務局指定の業者へ申し込む場合の宿泊料金は、令和8年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
※ チーム独自で確保した場合の料金は、事務局指定業者の料金と異なる。
- 15 そ の 他
- (1) プログラムは有料とし、1冊1,000円で販売する。
 - (2) 参加記念章は、1個500円で販売する。
 - (3) 東北大会への出場については、男子は、団体戦・個人戦ともに第3位までの上位4チーム（上位4名）、女子は、団体戦・個人戦ともに優勝・準優勝の上位2チーム（上位2名）が出場権を得る。
 - (4) 全国大会への出場については、男女とも、団体戦は優勝校1チーム、個人戦は各階級とも第1位の1名が出場権を得る。
 - (5) 大会日程について
 - ① 1日目 22日（水）

9:00～	会場準備（県北地区部員および大会出場選手）
11:30	開場・受付（団体・個人）
12:00～13:00	団体戦公式計量・柔道衣コントロール
12:00～13:45	公式練習（団体戦・個人戦出場者・個人付添者）
14:00～14:30	監督会議
 - ② 2日目 23日（木）

8:00～	開場・受付（個人受付も実施）
8:15～ 9:15	公式練習（団体戦登録選手のみ）
9:20～ 9:50	審判会議
10:00～10:20	開始式
10:20～10:30	第1試合・第2試合出場チームアップ
10:30～13:00	競技 男女団体決勝戦まで実施
13:20～13:40	団体戦表彰式
12:00～	個人戦受付
13:00～14:00	個人戦非公式計量
14:00～15:00	個人戦公式計量・柔道衣コントロール
14:00～14:30	審判反省会（個人戦計量と同時進行）
14:00～15:30	会場練習（個人戦出場者・個人付添者）
 - ③ 3日目 24日（金）

8:00	開場
8:15～ 8:30	個人戦再計量
8:15～ 9:15	公式練習（個人戦出場者・個人付添者）
9:20～ 9:40	審判打ち合わせ
9:45～ 9:50	諸連絡
9:50～10:00	第1試合から第6試合出場選手アップ
10:05～13:30	競技（個人戦準決勝まで）
13:45～14:30	男女個人決勝戦
14:50～15:10	個人戦表彰式並びに閉会式
15:30～16:30	会場片づけ
15:20～16:20	東北・全国出場者説明会
 - (6) 監督・コーチは審判に準ずる服装とする。（ネクタイ不要）

(7) 練習および会場の割り振りについて

※選手1名の場合は付添者のアリーナおよび柔道場の入場を可とする。

22日	アリーナ：団体戦・個人戦出場者・個人戦付添者。 柔道場：団体戦・個人戦出場者・個人戦付添者。
23日	アリーナ：朝：団体戦出場チーム登録選手のみ。 柔道場：8:15～9:15：団体戦出場チーム登録選手のみ。 10時以降：団体戦・個人戦出場者・個人戦付添者。
24日	アリーナ：個人戦出場者・個人戦付添者。 柔道場：8:15～9:15：個人戦出場者・個人戦付添者。 10時以降：個人戦出場者・個人戦付添者。

(8) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

(9) 福島県中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各地区中学校体育連盟を通して福島県中学校体育連盟及び開催地区中学校体育連盟・競技専門部と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。

(10) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪雷等天候の影響で起こった場合も含む。